

教育委員会だより

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

令和元年度を振り返って

大牟田市教育委員会

教育長 安田 昌則

新しい時代・令和が幕を開けた今年度、教育委員会と各学校は、未来を創る児童生徒を育成するため、さまざまな取り組みを進めました。

持続可能な開発のための教育（ESD）については、8月に「ユネスコスクール・ESD全国交流会in大牟田」を、1月に「ユネスコスクール・ESD/SDGs子どもサミット」を開催し、市内外から多くの方々にご参加いただき、ESDの学びについて交流を深めることができました。

また、今年度は特に、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けてESDを深めた一年でもありました。その成果の一端は、子どもサミットや、吉野小学校が12月に開催した研究発表会において、「持続可能な社会づくりについて自分の考えを持ち、行動する」児童生徒の姿としてお示しすることができたと考えております。

12月には、市を挙げて取り組んできた本市のESDがSDGsの達成に資するとの評価をいただき、日本政府のSDGs推進本部が主催する第3回「ジャパンSDGsアワード」の特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を、教育委員会として全国で初めて受賞しました。これもひとえに関係の皆様のご協力とご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

本年4月から小学校で、来年4月から中学校で新学習指導要領が全面实施されます。新学習指導要領には、ESDの「持続可能な社会の創り手の育成」という考え方が、その基盤となる理念として組み込まれています。また、小学校5・6年生で英語が教科化されますが、本市はこれに向けてしっかりと準備しています。

これからも教育委員会は、児童生徒が意欲を持って主体的に学び、未来を創る人・持続可能な社会の創り手となるよう取り組んでまいります。

今後とも本市の教育への一層のご理解とご協力をお願いいたします。

4月から小学校で外国語（英語）が教科になります

4月から小学校で新学習指導要領が全面实施され、5・6年生では新たに外国語（英語）が教科になります。授業内容は文法を教えたりするのではなく、簡単な英語の表現を使って自分の気持ちや考えを伝え合う体験を通して、楽しみながら学習することを目指していきます。

- これまでの外国語活動 … 英語に慣れ親しむ
- 4月からの外国語科 … 英語に慣れ親しみ、聞く・話す・読む・書く

● 授業時数（コマ数）は、5・6年生ともに年間70時間

本市では平成30年4月から、5・6年生で年間70時間の外国語活動を行っていますので、英語の教科化によってコマ数が増えることはありません。

● 授業の進め方

学級担任を中心に、ALT（外国語指導助手）の配置やICTの活用なども行いながら授業を進めていきます。また、より良い授業づくりのための教職員研修なども充実させます。

今後も一層、子どもたちが英語でコミュニケーションを行う楽しさを実感しながら英語に慣れ親しむとともに、外国の言葉や文化に対する理解を深めるようにしていきます。





学校教育功労者表彰式

子どもサミットの発表校とテーマ

オープニングに先立ち、「世界寺子屋運動」に役立てていただくため、大正小学校から日本ユネスコ協会連盟へ書き損じはがきを寄贈しました。

◇オープニング

- 明治小学校 2年生

One Little Finger (英語の歌)

◇未来につなげよう！わたしたちのふるさと

- 三池小学校

ふるさと三池をカルタで発信しよう

- 高取小学校

ホテルツリーを復活させよう！『ホテルプロジェクト』

- 明治小学校 (明治小・中友小・吉野小・玉川小・上内小の5校協働 川プロジェクト)

宝の海『有明海』を守ろう！僕たち私たち環境川探検隊

- 気仙沼市立鹿折小学校

海で復興・未来へつなぐ『気仙沼の魅力』プロジェクト

◇SDGsゲーム紹介 (吉野小学校)

◇大牟田からのメッセージ

- 大牟田中央小学校・明治小学校

東北の皆様へ歌のメッセージ「合唱 しあわせ運べるように」

- 白光中学校から気仙沼市へ見舞金贈呈

◇力を合わせて よりよいまちづくり

- 田隈中学校・銀水小学校

地域とつながるフラワープロジェクト

- 三池工業高校・駿馬小学校・宮原中学校

我がまちの世界遺産を盛り上げる取組

1月11日に文化会館小ホールで「ユネスコスクール・ESD/SDGs子どもサミット」を開催しました。サミットは、教育委員会の重点事業「おおむた・みらい・ESD推進事業」の一環として毎年開催しているもので、市内外の児童生徒がESDの学びの成果を発表し合い、交流しています。

サミットの前に本市の学校教育の振興に特に功績があった人をたたえる「学校教育功労者表彰式」を行いました。今年度は下記の9人の方が受賞しました。

キーワードはつながり

ユネスコスクール・ESD/SDGs子どもサミットと学校教育功労者表彰式

まちの未来をわたしたち自身の手で

子どもサミットでは、児童生徒たちが地域の良さや特色を生かした学びの成果を発表しました。今回は、遠く宮城県から気仙沼市立鹿折小学校が、また、市内の高校から初めて、三池工業高校が参加しました。

どの発表でも、ESDの大切な視点でありキーワードである、人と人のつながり・地域と世界のつながり・過去と現在と未来のつながりがしっかりと表現されていて、来場した人たちからたくさんの拍手が送られました。

学校教育功労者として表彰された皆さん

【登下校の見守り】

森 多喜子さん 池田 那津子さん
櫻井 秀妙さん 奥苑 和司さん

【読書ボランティア】

小柳 久美子さん 佐藤 千穂さん

【小学校ソフトボール監督、運動場整備】

石田 和英さん

【学校医】

富安 信夫さん 早川 友一郎さん

(川順不同)

問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室 (☎412867)



白光中学校から白光クッキーの売上金を気仙沼市へ見舞金として贈りました



まちの未来のために、自分たちにできることを発表しました